

I.R.S. Doc. No. 3352A

Exhibit No.

朝日新聞 一八四〇年八月十九日よりの抜萃

# 新体制初準備會開

座長に末次大將指名

國民侍望の新体制理念。近衛聲明は二十日午後二時新体制第一回準備會の開會を待て近衛内閣總理大臣の名を以て中外に發表せられた。この日本員長は近衛首相を以て全閣僚、民間代表二十五委員、常任幹事七氏は相前後し首相官邸に参集。官邸二階大広間。会場には近衛首相を中心に特に自由討議の心遣ひから席の配置にも固著しい形式を避り國民集議体制を産み出すに相應し、雰囲気も早く見られる。出席者は

【政府側】 近衛首相は小の全閣僚、村瀬法制局長官、倉田書記官長、ほか関係官

【民間側】 後藤文夫、有馬頼寧伯、井田熊雄、堀切善次郎、太田耕造、永井柳太郎、前田米藏、岡田忠彦、小川郷太郎、金光庸夫、秋田清、麻生久、平賀讓、井坂孝、八田嘉明、白鳥敬夫、末次信正、橋本欣一郎、中野正剛、島生能久、岡崎勉、吉野伊之助、高戸長五郎、平乃松太郎、緒方竹虎、三平委員(大河内正敏子は旅行缺席)及び幹事、後藤隆之助氏

辭き前

I.R.S. Doc. No. 3352A

Exhibit No.

朝日新聞 一九四〇年八月十九日の夜半

# 新体制初準備會開く

座長に末次大將指名

國民侍望の新体制理念。近衛聲明は二十日午後二時新体制第一回準備會の開會を待って近衛内閣總理大臣の名を以て中外に發表せられた。この日本員長は、近衛首相を始め全閣僚、民間代表三五委員、常任幹事七氏は相前後し、首相官邸に参集。官邸二階大広間。会場には近衛首相を中心に特に自由討議の心遣ひから席の配置に固著しい形式を避り國民黨新体制を産み出すに相應し、空闊氣が早く見られる。出席者は、

【政府側】 近衛首相はじめ全閣僚、河瀬法制局長官、倉田書記官長、ほか関係官

【民間側】 後藤文夫、有馬頼寧、伯井田磐楠、堀切善次郎、太田耕造、永井柳太郎、前田米藏、岡田忠彦、小川郷太郎、金光庸夫、秋田清、麻生久、平賀讓、井坂孝、八田嘉明、白鳥敏夫、末次信正、橋本欣三郎、中野正剛、島生能久、岡崎勉、古野伊之助、高石良五郎、平方松太郎、緒方竹虎、三平委員(大河内正敏子は旅行缺席)及び幹事、後藤隆之助氏。

辭言



I.P.S. Doc. No. 3352A

Exhibit No.

朝日新聞

一九四〇年八月二十九日の抜萃

## 新体制初準備會開く

座長に末次大將指名

國民侍望の新体制理念。近衛聲明は二十日午後二時新体制第一回準備會。開會を待って近衛内閣總理大臣の名を以て中外に發表せられた。この日平議員長は、近衛首相を始め全閣僚、民間代表三十五名、常任幹事七氏は相前後して首相官邸に参集。官邸二階大広間。会場には近衛首相を中心に特に自由討議の心遣ひから席の配置にも固著しい形式を避り國民集議新体制を産み出すに相應、雰囲気は早く見られる。出席者は、

【政府側】近衛首相はじめ全閣僚、河瀬法制局長官、倉田書記官長、ほか関係官

【民間側】後藤文夫、有馬頼寧伯、井田鑑純、堀切善次郎、太田耕造、永井柳太郎、前田米藏、岡田忠彦、小川郷太郎、金光庸夫、秋田清、麻生久、平賀讓、井坂孝、八田嘉明、白鳥敏夫、末次信正、橋本欣三郎、中野正剛、島生能久、岡崎勉、古野伊之助、高石長五郎、平井松太郎、緒方竹虎、三十五平議員（大河内正敏子は旅行缺席）及び幹事後藤隆之助氏。

記者席

I.P.S. Doc. No. 3352A

定刻午後三時開会傍頭本員長近衛首相は草  
稿を前に「史的声明」を述べて、開会の挨拶に代へ  
たが、首相はさう中に於て、時難克服のためには進力  
なる国民組織の樹立による莫積体制確立の急務  
なる所以を力強く論述し、その具体化に対し準備  
会の衷心の協力を平請へた。  
次に議事進行のため首相より当日、座長として、木次大  
將を指名し、木次大將座長席に於て議事に入つた。  
即ち準備本員から活潑な質疑が行はれ、之に  
應へて近衛首相並に常任幹事富田書記官長等  
から説明あり、かくや一回開会に於ては声明に盛  
るゝ新体制理念の闡明を中心に眞摯な論議  
が展開された。